

## 法人概要・推進体制・予算

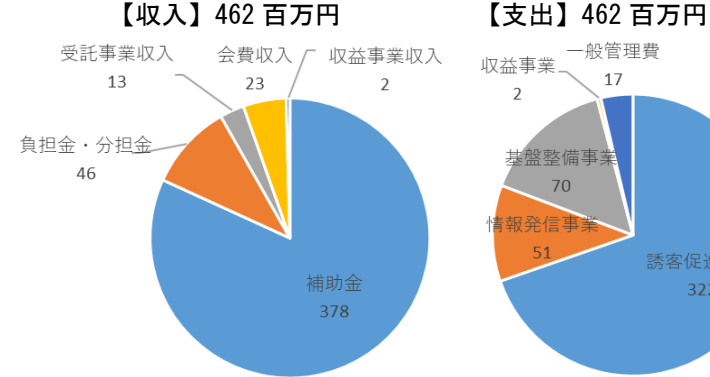
### 1 法人概要

名称：公益社団法人ひょうご観光本部（2019年8月1日名称変更）  
 住所：〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1（兵庫県庁1号館7階） Tel. 078(361)7661 Fax. 078-361-7662  
 経緯：2020年3月登録DMO認定、2012年4月公益社団法人認定、1952年2月社団法人兵庫県観光連盟として発足  
 代表者：理事長 高士薫（㈱神戸新聞社取締役会長）  
 職員数：23人 会員数（2021年4月現在）：292（県内市町、観光協会、観光事業者等）

### 2 推進体制（2021年4月現在）

総務課	・理事会・総会の運営 ・予算・決算業務
マーケティング課	・市場調査及び分析 ・ひょうごツーリズム戦略推進会議の実施
企画開発課	・周遊・体験型コンテンツの開発 ・外国人観光客受入基盤整備 ・WEBサイト・SNSによる情報発信
国内プロモーション課	・ツアー商品・コンテンツの販売 ・国内向けプロモーション・ファミリッパの実施
海外プロモーション課	・広域周遊ガイド育成 ・海外向けプロモーション・ファミリッパの実施 ・インバウンド展開支援

### 3 当初予算（2021年度）



## めざすところ

「兵庫 2030 年の展望」に掲げる「交流五国・ツーリズム人口が拡大する兵庫」を実現するために、2025 年の大阪・関西万博までの6年間を好機ととらえ、ひょうごツーリズム戦略（2020～2022 年度）に基づき、兵庫県へのさらなる誘客を推進する。

### 【めざす姿】

#### 「世界に選ばれるデスティネーション兵庫」

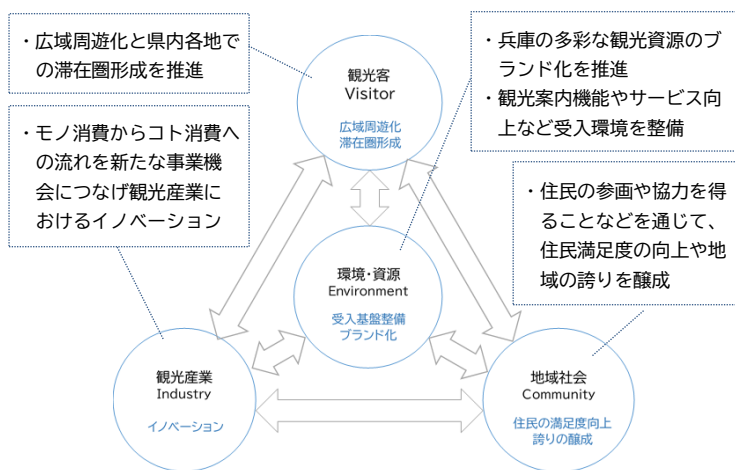
日本はじめ世界から訪れる多くの旅行者が、素晴らしい出会い、体験を楽しみ、兵庫での観光に満足して、再び訪れてもらえる観光地域となることをめざす。

### 【事業推進方針】

観光振興を通じより良い地域社会を実現する「持続可能な観光」をめざし、地域連携DMOひょうご観光本部を中核とし次の視点で臨む。

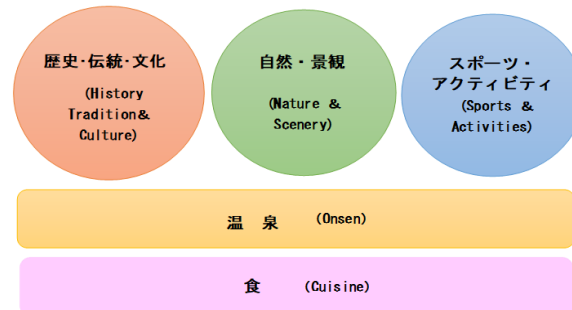
#### ① 多様なステークホルダーとの連携

観光地域づくりにかかる4つの対象に働きかけ、兵庫の観光振興の好循環を生み出す。



#### ② 地域主導の着地型観光の実践

兵庫の強みである観光資源の多様性を活かし、国内外から訪れる多くの人々を魅了する多彩なコンテンツを「The Hyogo Highlights」として磨き上げ、戦略的な情報発信を行い、ブランド化を図る。

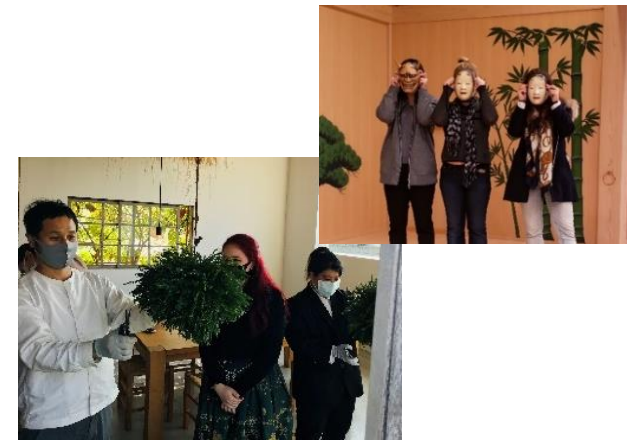


3つのテーマ（①歴史・伝統・文化、②自然・景観、③スポーツ・アクティビティ）を設定し、それぞれに組み合わせる④温泉、⑤食の情報もあわせて、磨き上げ

## 主な事業

### 観光地魅カコンテンツの創出・発信

- ・ウィズ・コロナ期において、まずは県内及び近隣府県からの観光客を誘客するため、県内各地の観光資源を活かした付加価値の高い体験型コンテンツの造成
- ・令和2年度に造成した訪日外国人向け体験型・周遊滞在型コンテンツをストーリーに基づく周遊ルート化を図り、旅行商品としてOTA等を通じた販売の仕組みを構築



### 観光ビジネスの創出・育成

- ・新たな観光ビジネスの創出に向けたビジネスセミナーの開催
- ・大阪・関西万博を見据え、鉄道事業者と連携した観光キャンペーンの展開
- ・県内各地のゴルフ場と観光コンテンツを組み合わせたゴルフツーリズムの商品販売の促進
- ・コンテンツへのアクセス手段及びアクティビティ型コンテンツとして、E-Bike を活用したサイクルツーリズムの推進



### 観光客受入基盤の整備

- ・訪日外国人旅行者対応のローカルガイド育成研修及び研修修了生のガイド付きツアープランを流通するシステムの構築
- ・多言語案内・解説板の充実、通訳 ICT サービスの充実など計画的な基盤整備の推進



### 重点市場への戦略・継続的なプロモーション

- ・ガイドブックやポスター、雑誌、WEB・SNS、FM ラジオ等を活用したメディアミックスプロモーションの実施
- ・JNTO と連携したインバウンド向け情報発信力の強化・プロモーションの実施
- ・台湾、タイ、香港、韓国、北米市場への「ひょうご国際観光デスク」の設置



### 広域ゲートウェイへのアプローチ

- ・ローカル to ローカルの国内市場を活性化させるため、県内の空港の国内線就航先の DMO 等との相互送客ネットワークの構築
- ・広域連携DMO等と連携した関西圏はじめ、瀬戸内圏、日本海圏、四国・淡路圏の広域周遊ルート形成

